ＣＮＡＣ海あそび安全講座
指導者養成セミナー
実施報告書

■ 開　催　日 ： 令和３年７月７日(水)～７月８日(木)
■ 開　催　地 ： 南房総市大房岬自然の家
■ 主　　催 ： NPO 法人 海に学ぶ体験活動協議会（CNAC）

Ⅰ．プログラム

「令和３年度 CNAC海あそび安全講座指導者養成セミナープログラム」

宿泊：南房総市大房岬自然の家

時　間	項目・内容
令和３年７月７日（水）	
12:40	受付開始
13:00	開会 代表理事挨拶 資料・スケジュール確認　注意事項及び施設利用説明 オリエンテーション　講師紹介　自己紹介
13:20	今回の研修内容の趣旨説明 海あそび安全講座の経緯 海辺のリスクマネジメントの概要
13:50	安全講座のモデル講座 海の楽しさと危険性　15分 ・紙芝居、安全冊子の使い方紹介KYT（危険予知訓練） 落水したときの対処法　５分
14:40	着替え、海辺に移動
15:00	安全講座実技指導（実習）　90分 ・説明、準備体操、集合写真 落水した時の対処法　40分 ・ういてまて 　一人で浮いてみる 　ペットボトルを使って浮いてみる 　いろいろな浮力体を使って浮いてみる 落水者を発見したときの対処法　40分 ・ペットボトルレスキュー ・運搬法 青枠：海中実習
16:30	セミナー会場に移動、シャワー、着替え
18:00	夕食
19:00	実習部分を屋内で行う場合の工夫 海洋実習の振り返りと補足　工夫点の確認等の意見交換 ペットボトルレスキューにおけるロープワークの確認 小学校での海あそび安全講座の開催について
20:15	質疑応答
20:30	１日目　終了
21:30	入浴
22:00	消灯
令和３年7月８日（木）	
7:30	朝食　片付け　荷物移動
9:00	海あそび安全講座のKYT（キケンくん探し）実習
10:15	海あそび安全講座の運営についてのマニュアル確認
10:45	海辺の体験活動におけるリスクマネジメント概論
11:30	参加者感想発表　修了証授与　アンケート記入
12:00	セミナー終了　昼食（弁当）後、解散

２．１日目（令和３年７月７日）

JR 富浦駅　外観

JR 富浦駅　ホーム名所案内　自然の家記載あり

大房岬自然の家　外観

玄関　※手指消毒液

部屋　※12 人部屋を２名で使用

食堂　※ビニールカーテン

現地確認

受付時　※体温測定（非接触型体温計）

※コロナ感染症拡大防止対策

会場設営　※6 人掛け机を最大 3 名で使用

三好代表講義

小池副代表講義

海に移動

浮力体など

準備体操

支えて浮かぶ（講師）

支えて浮かぶ（実践）

一人で浮かぶ

ペットボトル

発砲スチロールボックス

クーラーボックス

ビニール袋

バケツ

タッパー

ランドセル（前）

ランドセル

ランドセル（背負ったまま）

ペットボトルレスキュー

要救助者を目指して海に投げます

陸地に引き上げます

レスキューチューブ

１人で救助

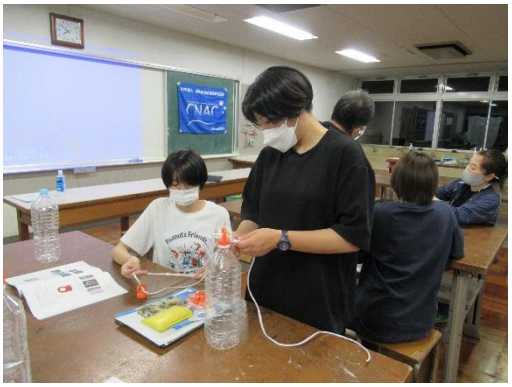
２人で救助

海から戻って講義再開　実習の振り返り

紐の結び方

できた！

むむむ...


受講者も先生に

海あそび安全講座の開催方法について

１日目は、CNAC の考える海あそびの概論、海あそび安全講座の進め方を学んだ後、落水時および落水者を発見した時の対処法を海で実習、実習の振り返り、安全講座の開催方法、紐の結び方を学びました。

学んだことをすぐに実践することにより、より深い理解に繋がっていきました。

２日目につづく。

３．２日目（令和３年７月８日）

大房岬ビジターセンター

海あそび安全講座実演説明

グループＡ

グループＢ

グループＣ

リスクマネジメントについて

２日目は、今後指導者として海あそび安全講座を開催していただくため、グループごとに実演し、受講者同士で評価をしあいました。話のつかみ、自己紹介の大切さ、海は楽しいことを伝えつつ危険性を教える、時間内に全て伝えきる工夫をする、など、大変実践的な内容でした。

最後に、海辺の体験活動におけるリスクマネジメントを学び、講座の主催者側が気を付けることを確認しました。

４．受講者感想

・講義、実習、講義の流れで、とても分かりやすいセミナーでした。
・冊子のイラストは、子どもでもわかりやすい工夫がなされていてよかった。
・海辺での危険性に気づいていないことがあったため、再確認ができてよかった。
・人に伝えるためには、入念な準備が必要なこと、自分の言葉で話すことが大切であることが確認でき、人に伝えることの難しさを改めて知ることができました。
・海は、波に流されるなどの危険が多いが、入れば楽しい。海あそびをする子供たちを増やすためには、危険なことだけを伝えると怖さが先に立ち、入ることをためらってしまう可能性があるため、楽しみながらこんな危険もあるよねーという感じで伝えていくことが必要であると感じた。
・いろいろな浮き具を試してみて、ランドセルやペットボトルのような意外なものでも浮いていられることがわかったのはよかった。
・やはり、実際に体験することが一番重要だと感じた。

５．総括

本セミナーは、昨年に引き続き、新型コロナ感染症拡大防止対策を念頭に、ガイドラインを遵守して実施されました。参加者の皆様、施設の皆様のご協力のもと、２日間を無事に終えることができました。

参加者の皆様におかれましては、本セミナーで学んだことを活かし、安全で安心な海あそびを広めていっていただきたいと思います。